



チェックシートで自社のITリテラシーの診断を行ってみましょう。

DX導入チェックシート

次ページ以降にチェックシートの説明があります。
アンケートに回答して頂いた方にはチェックシートを送付させていただきます。

DX導入チェックシート その1

ITは目的達成の手段であり、目的ではありません。例えば、「売上向上のために競合他社の半分の期間で見積書を提出できるようにシステム連携機能を導入する」、とか、「コスト削減のために単純事務業務の自動化ソフトを導入する」、とかです。目的が明確であればIT導入後にどのような成果がでたかも実測し易くなります。

IT導入をしたが、効果を実感できていない企業で最もよく見られるケースは導入目的が明確でないことです。何を達成するためにどのような手段をえらんで、どのような効果を得たいかを分かっていないと必要のない高価なシステムを購入したり、機能不足なソフトウェアを導入することになります。結果として何の前進もないままお金と時間を費やすことになるケースは多々あります。

以下のチェックシートでは、確認項目を3種類に分けて示しています。各確認項目の頭に簡単な対処方法を記載しています。

必須確認項目：

DX導入前に必ず確認が必要な事項です。点数が0の場合は、点数が2になるようにコンサルタントの支援を仰ぎましょう。

確認内容	点数：0	点数：1	点数：2
競合他社とどのように差別化するかが明確になっている。	なっていない	考えている	文書化されている。
何のためにITを導入するかが明確になっている。（導入目的が明確）	なっていない	考えている	文書化されている。
DX化の目的が利害関係者に周知されている。	されていない	一部伝えている	持続的に周知徹底している

本チェックシートは各種専門誌でも紹介されています。→

取引先のITレベルのチェックシート

ITを導入するには準備が必要です。例えば、インターネットを介して情報共有する機能を導入するためには、共有する情報が電子化されていることが前提となります。経費精算業務を自動化する場合でも経費申請書の書式がバラバラでは自動化できません。以下の項目を参考に点数をつけてみましょう。点数が低いほど取引先のITレベルは高くないといえます

確認内容	点数：0	点数：1	点数：2
業務に必要な情報が電子化されている。	されていない	一部されている	ほぼされている
情報が標準化されている。（例：報告書や経理関連情報の形式が統一されている。）	されていない	一部されている	ほぼされている
情報システム要員がいる。	いない	兼任者がいる	専任者がいる
情報システム担当役員がいる。	いない	兼任者がいる	専任者がいる
IT導入のリーダーがいる。	いない	たまに	常に任命している
今まで導入されたITを積極的に活用している。	利用していない	部分的な利用	充分活用している
現システムの改善・推進の対応。	行っている	行っているが不満足	行っている

(作成) ドリームIT研究所



IT導入準備項目：

IT機能を導入するためには準備項目があります。例えば、インターネットを介して情報共有する機能を導入するためには、共有する情報が電子化されていることが前提となります。経費精算業務を自動化する場合でも経費申請書の書式がバラバラでは自動化できません。

以下の項目で0点の場合は、ほぼ確実に日常的な困りごとが発生しています。困りごとの内容を確認して、専門家に伝えましょう。

1点及び2点の場合は情報共有または自動化の機能を導入すると効果が出てくる可能性がありますので、ページ下の「困りごと一覧表」に✓を入れましょう。

確認内容	点数：0	点数：1	点数：2
業務に必要な情報が電子化されている。	されてい ない	一部され ている	ほぼされ ている
情報が標準化されている。（例：報告書や経理関連情報の形式が統一されている。）	されてい ない	一部され ている	ほぼされ ている

**継続的改善項目：**

ITは一度導入して終わりではありません。

IT導入により新たに出てきた問題点の改善・ビジネスの変容に対応した改善等継続的改善が必要です。ITを導入して効果がでてきた企業はその適用範囲を広げたり、機能を深掘したり、新たなIT導入を継続的に実施することにより効果を上げ続けることができます。

0点の項目は1点へ、1点の項目は2点に移行できるように努力しましょう。

確認内容	点数：0	点数：1	点数：2
情報システム要員がいる。	いない	兼任者がいる	専任者がいる
情報システム担当役員がいる。	いない	兼任者がいる	専任者がいる
IT導入のリーダーがいる。（DX化リーダーは社長）	いない	たまに	常に任命している
今まで導入されたITを積極的に活用している。	利用していない	部分的な利用	充分活用している
現システムの改善・推進の対応	おこなってない	行っているが不満足	行っている